令和7年 第2回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和7年1月28日（火）午後2時30分

場 所：教育委員会室

教育長	蓮 沼 千 秋
教育長職務代理者	平 井 俊 一
委員	天 野 安喜子
委員	森 本 勝 也
委員	井 戸 道 代

事務局	教育推進課長	飯 田 常 雄
	学務課長	田 森 健 志
	教育指導課長	佐 藤 嘉 弘
	教育研究所長	百 々 和 世
	統括指導主事	関 直 也

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	中 尾 隆
	同 主査	樽 川 翔 平

蓮沼教育長	<p>開会時刻 午後2時30分</p> <p>ただいまから、令和7年2回教育委員会定例会を開催します。</p> <p>日程第1、署名委員を決定します。天野委員と井戸委員にお願いします。</p> <p>続いて、日程第2、議案の審議にまいります。</p> <p>はじめに、継続となっております陳情第1号「中学校英語スピーキングテスト実施状況調査と結果の活用中止に関する陳情」について審議いたします。</p> <p>これまで鋭意審議してまいりましたが、前回ご案内しましたとおり、本日結論を出したいと思えます。各委員から順に意見開陳をお願いします。</p> <p>まず、平井職務代理からお願いします。</p>
平井委員	<p>陳情者からの資料と本陳情について検討をいたしました。</p> <p>今年度から事業者も変わり、マイクとヘッドフォン、一体型のヘッドセットに変更されたというところがございますが、タブレット端末の不具合等、一部あったようでございます。</p> <p>また、1、2年生にもスピーキングテストが実施、導入されるというところでは過渡期かなというところは感じております。</p> <p>かと言って、生徒たちが不利益を被ることは回避したいというところがございます。</p> <p>しかしながら、本陳情の趣旨であります結果活用の中止については、東京都教育委員会の所管と考えますので、本陳情は不採択といたします。</p> <p>しかしながら、今後のスピーキングテストの実施状況、生徒の声などを注視しまして、著しい不利益があるようであれば適宜適切な対応を図ってまいりたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、天野委員、お願いします。</p>
天野委員	<p>私も平井職務代理と同じ意見ではあるものの、やはり今後、将来、未来の子どもたちは、やはり英語が大切になってくる。中でも、このスピーキングテストをきっかけに、さらに掘り下げていただくと、学んでいただく機会にさせていただけたらなと思えます。</p> <p>あとはテストに関しては、いろいろな疑問というか、そういったところが</p>

	<p>出てきていますけれども、そこを考慮していただけることを期待しています。私の意見は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。 次に、森本委員、お願いします。</p>
森 本 委 員	<p>結論から先に申しますと、本陳情については不採択としたいと思っております。先日開催されました文教委員会でも発言させていただきましたが、確かに賛否両論はあるんですけど、既に子どもたちがスピーキングテストに取り組みまして、その努力をしている段階ということもあり、これから有効性と公平性を担保できるように検証議論されていくことが肝要であると思っております。</p> <p>また、本区の目指す共生社会の実現という大きな観点からも、その意義はあると考えております。</p> <p>さらに都立高校入試への活用については、東京都教育委員会の権限と責任においてなされるものと考えます。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。 次に、井戸委員、お願いします。</p>
井 戸 委 員	<p>私も同じに結論から言いますと、不採択といたします。今回で3回目だと思うんですけども、不具合なことが様々なところで起きていると思います。ここの部分はしっかりと解決していただきながら、これは大事だと思いますので、その部分をやっていただきたいなと思います。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。最後、私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>私も、特別区の教育長会で担当の方からもご説明を聞いたり、経過を聞いたり、実施の後にですね、どんなことがあったかという話を聞いております。ただ、基本的には、そのスピーキングテストの狙いですとか、英語の力をつけていくというところでは異議がないので、手段というのですかね、やり方ですよね。そういったところに、もうちょっと子どもたちが、あるいは保護者が、先生が不安になったりする部分があるので、それをこれからもしっかりと改善して、そういったことがないように取り組んでいただきたいと、その</p>

	<p>ように思っているところでございます。</p> <p>皆様のご意見を踏まえますと、東京都教育委員会に意見書を提出する必要はなく、本陳情については不採択ということでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。それでは、陳情第1号については、不採択とすることといたします。</p> <p>ただし、皆様からご意見をいただいたように、子どもたちが安定した学習環境でスピーキングテストを有効活用できるよう、対応を継続していきたいと思っておりますし、運用面で教員や子どもたちの負担になっていることについては、これまでも申し上げてまいりましたが、東京都教育委員会に改善を要望していきます。</p> <p>以上で、陳情第1号の審議は終了します。</p> <p>次に、第2号議案、「教育に関する事務の議案についての区長からの意見聴取について」ですが、本議案は、教育に関する予算、条例案について、令和7年第1回江戸川区議会定例会で審議するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、区長から教育委員会に対して意見聴取されたものです。</p> <p>本件は議会に上程される前の議案に関することであり、政策形成過程にある案件であることから、江戸川区教育委員会会議規則第13条に定める秘密会として審議したいと思っております。この発議賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">〔賛成者挙手〕</p>
教 育 長	<p>賛成多数と認めます。本案件は秘密会となります。審議は本日の公開案件の後、行いたいと思っております。</p> <p>なお、第2号議案については、議案が議会に上程された後に議事録の公開を可能とします。</p> <p>次に、第3号議案、「令和7年度教育目標・教育指針・重点施策について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
飯田教育推進課 長	<p>それでは、ご説明いたします。資料をお配りさせていただきましたが、教育委員会の基本的な方針として、教育目標及び基本方針、また、年度ごとの</p>

	<p>重点施策というのを毎年決定いただいております。</p> <p>資料の1ページ目にごございます教育目標、そして、2ページ目にごございます基本方針につきましては、基本的な考え方ということで、今回改正の案はお示ししてございません。</p> <p>資料の3ページ目にごございます、令和7年度重点施策につきましては、3ページ目の下から二つ目の丸印にごございますように、右側の令和6年度につきましては、国や都の学力調査とありましたが、左側の新のほうをご覧くださいますと、国や区の学力調査と改正をさせていただければと思います。</p> <p>併せて、補習教室という表現を放課後学習教室に改める。</p> <p>また、4ページ目の一番上にごございますように、体力向上の取組の中でプロのダンサーによる出前授業の実施というところを追加させていただければと考えてございます。</p> <p>その他につきましては、特に変更はございません。</p> <p>ご審議のほど、お願いをいたします。</p> <p>ただいまの件に関して、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>特に特になければ、第3号議案を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、原案のとおり決定いたします。</p> <p>続いて、日程第3、教育関係事務報告にまいります。</p> <p>はじめに、教育委員会後援名義の使用承認について、事務局から説明をお願いします。</p>
教育推進課長	<p>それでは、ご報告申し上げます。</p> <p>今回3件ございますが、1件目の後援名義につきましては、今回2回目後援名義の申請です。</p> <p>行事名は、第2回江戸川区特別支援学級・学校進路フェアであります。申請者は、NPO法人らいおんは一と理事長。事業の目的は、特別支援教育を受ける子どもたちにとって、より豊かな人生を歩むためのいろいろな手段を</p>

紹介する場を設け、選択の一助とするというものであります。実施日時は、令和7年3月9日日曜日。会場は、タワーホール船堀展示ホール1・2。事業の対象は、特別支援学級・学校に通う児童生徒とその保護者等であります。

2点目でございますが、今回7回目の後援名義申請です。

春のオーケストラ教室。申請者は、江戸川区少年少女オーケストラ団長であります。事業の目的は、区内小中高校生を対象にオーケストラの楽器に触れ、実際に演奏に参加する体験をしていただける機会を設けることで、オーケストラの魅力を感じてもらい、新規入団につなげるというものであります。実施日時は、令和7年3月31日日曜日。会場は、グリーンパレスホール。対象は、区内小・中・高校生であります。経費の徴収といたしまして、楽譜代などの参加費ということで一人500円の徴収があります。

3件目の後援名義申請は、今回16回目の申請です。

行事名は、子どもたちのための芸術ふれあいフェスティバル2025。申請者は、一般社団法人子ども文化コミュニティエドがわ代表理事であります。事業の目的は、芸術鑑賞、芸術文化体験及び区の伝統文化との触れ合いを通じて、子どもたちの想像性、表現力、社会性を育むことであります。実施日時は、令和7年7月13日日曜日。会場は、タワーホール船堀大ホールや展示室等であります。事業の対象は、子どもたちや一般区民。経費の徴収といたしまして、参加するプログラムごとに材料費等の徴収を行っております。

その後ろに参考資料をつけさせていただきました。

進路フェアにつきましては、事業計画及び予算書を添付させていただいてございますが、事業計画の中ほどに具体的内容というふうでございますけれども、そこに記載がありますように、事業の内容としては進学先の選択ということで、都内の特別支援学校高等部や普通科・通信制・単位制高校等の紹介と個別相談。卒業後の進路の選択ということで企業との連携や福祉施設との連携、また、就学前の相談や各種機関の情報共有という場を設けるというものであります。

その次は予算書であります。

2点目の春のオーケストラ教室につきましても、企画書の添付がございます。

事業の計画・内容等につきまして、がございましたように、楽器の体験や楽器の演奏、また、合奏ということで、今回は「ゴジラ」ということにつきまして取り組む予定というふうにご覧いただけます。

関係者によるチラシの配布のほか、区内の施設にチラシを置くとともに、

	<p>音楽教室にもチラシを置いていただいて、周知を図っていく予定と伺ってございます。</p> <p>3件目の後援名義、子どもたちのための芸術ふれあいフェスティバルにつきましても、規定内容と予算書を添付させていただきました。</p> <p>今回は、企画内容にございますように、「エルマーとりゅう」という演目につきまして、人形劇団による人形劇でしょうか、を行うというところのほか、絵画に関するワークショップや、農業に関するしおり作り、フラワーポットデコパージュ、また伝統工芸の「江戸扇子づくり」等々の企画をそれぞれ用意されております。</p> <p>それぞれの企画ごとに、参加費として材料代等徴収をするというふうに伺ってございます。</p> <p>最後に、予算書の添付をさせていただきました。</p> <p>ご報告は以上です。</p>
教 育 長	<p>ただいまの報告に関しまして、何か質問、意見等あればお願いします。</p>
平 井 委 員	<p>まず、特別支援学級・学校進路フェアですけれども、NPO法人らいおんはーと、及川理事長のところ、今年2年目ということで特別支援に特化したフェアということで。昨年のフェアも非常に好評を得ていたというところ、お世話になっておりますので、後押ししていきたいと思えます。</p> <p>二つ目、春のオーケストラ教室につきましても、新規入団のために力添えをしていきたいなと思えます。</p> <p>三つ目、子どもたちのための芸術ふれあいフェスティバル2025ですけれども、こちらちょっと気になるのは、それぞれ13のコーナー、ブース等あるようなんですけど、原材料費かかってしまうのはやむを得ないと思えますが、参加費がちょっと高いかなというところで、ちょっと気になるところではあります。一つ、二つ、三つ見れるのかどうかちょっと分からないですけれども、何かの形でもう少し参加費を安く抑える方法はないのかなというところを感じました。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。</p>
天 野 委 員	<p>2点ほど。1番、特別支援学級の私はとてもすばらしい、いい企画だなと思っている中で、ご質問なんですけれども。学校に通っている方というところ</p>

	<p>るので、学校に例えば、卒業して一、二年ぐらいたってという方の参加はできないというところなんですか。それ、1点目です。</p> <p>もう一点が、芸術ふれあいフェスティバルなんですけども、芸術フェスティバルに参加する人の募集。前回もこれ、いつも拝見して、大体同じ方が参加されているのかななんて思っている中で、募集期間とかそういったところも。江戸川区の中で、区内に芸術関係で学校なり通っている方も多分多くいらっしゃる中で、そういった方にも募集をかけているのかなというところのご質問、この2点です。</p> <p>まず、1点目の、例えば、卒業して一、二年目というところでございますが。今回のこの相談の中で卒業後の進路の選択ということで、企業や社会福祉施設との連携、また、社会福祉協議会などの相談コーナーについては、これは卒業した後でも全く問題なくお話し伺えるところだと思いますし、高校の相談については、当該の年齢じゃなければひよっとしたら該当しないかもしれないし、途中から入学することができるかどうかの相談は可能かと思えます。</p> <p>2点目の芸術ふれあいフェスティバルでございますが、例年、学校にチラシを配布して、学校を通じて子どもたちへの周知を行わせていただいている事業になります。</p> <p>以上です。</p>
天 野 委 員	<p>今のお答えを受けてなんですけれども、卒業した方への広告方法というか、それも広告がなくて、それを何かいろいろなところから嗅ぎつけていらっしゃるのか。2回目ということは、その前の方々が、こういう情報が欲しかったなんてことも、もしかしたらあるかもしれないというところの中でその広報の仕方って、今後、ぜひ充実をしていただけたらと。ご質問じゃなくてですね。できたらと思っています。</p> <p>3点目の、ごめんなさい、私のお伝えの仕方がちょっと、もしかすると不明確だったのかもしれないんですが、この出展される方、出展するほうが、例えば、ここを芸術フェスティバル出展する機会がありますけれども、あなたいかがというような、出展する方に対する何か応募みたいなものがあるんですか。芸術というと、いろいろな方が何でもできそうな思い方、アイデアでどんどん行けそうだし、もしくは学校で、小学校、中学校ではなくて大学とかですね、なった人が出展をする機会が恵まれている、江戸川区の卒業生もしくは江戸川区に関連のある方が、ここでぜひちょっと自分のものを出して</p>

教育推進課長	<p>みたいな芸術として、ということの期待に沿えられるような環境というのか、そういった応募というのがあるものなんですか。</p> <p>全ての授業がそうかどうかは分からないんですけども、伺っている範囲内で申し上げますと、この実行委員会のほうからお声がけをして、出展並びに出演していただいているというふうに伺っていますし。その際、今年度ではなく昨年度ですけど、例えば、ルドルフとイッパイアッテナのように、区にゆかりのある演目というところが考えながらやっているというふうには伺ったことがあります。毎年毎年実施主体のほうからお声がけをして、出展並びに出展していただいているというふうに伺ってございます。</p>
天 野 委 員	<p>先日、大学卒業生が、こちらのほうで出展をするということに関して、教育委員会で後援、卒業生だからいいですねなんていうことで。ぜひ、そういったところの、それも一つかなと。江戸川区のゆかりのある方が、これだけ芸術に対して活動を重ねているんですよという発表会の一つにも、何かそういったプラン一つでもあると、また、いろいろなところで発表するととても大切なので、いい機会なのではないかなと思った次第でした。ありがとうございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
井 戸 委 員	<p>2番目の春のオーケストラ教室なんですけれども、なかなかこういうことをやっても団員が少ないというふうにも書いてありましたけれども、7回目なので、昨年もやっているのかなと思うんですけども、そのときに、これだけの団員が入ったという数は分かりますか。</p>
教育推進課長	<p>昨年につきましては、19名の方の応募がありまして。ただ、当日欠席の方が4人いたので、当日来たのが15名というふうに伺っています。その中で、実際の入団まで至ったかどうかは、仮入団が一人。正式な入団までいったかどうかまでは分からないんですけども、見学の申込みは4名からあって、合計5人が少なくとも見学には行っているというふうにお伺いしてございます。</p> <p>以上です。</p>

教 育 長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>ほかになければ、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>次に、教職員の人事についての報告にまいります。人事に関する案件であるため、江戸川区教育委員会会議規則第13条に定める秘密会により審議したいと思いますが、この発議に賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">〔賛成者挙手〕</p>
教 育 長	<p>賛成多数と認めます。これより会議は秘密会となります。</p> <p style="text-align: center;">〔秘密会〕</p> <p style="text-align: center;">〔政策形成過程期間が終了したため秘密会部分を公開〕</p>
教 育 長	<p>それでは、第2号議案、教育に関する事務の議案についての区長からの意見聴取について、を審議いたします。内容について事務局から説明をお願いします。</p>
教育推進課長	<p>それでは後ろ、資料でございますように、教育に関する事務の議案ということで、2月14日に開会します第1回区議会定例会に提出する予定の議案について、これに基づいて意見聴取されたものであります。</p> <p>記書きでございますものが、今回の意見聴取の内容でございますが、予算に関するものが2件、条例改正に関するものが9件、合計11件、今回意見聴取がなされております。</p> <p>それぞれ資料に基づきまして説明をさせていただきます。</p> <p>1点目が、令和7年度当初予算案でございます。</p> <p>予算の規模、区全体につきましては、こちらにお示ししたとおり、一般会計で3,345億9,100万円ということで、82億5,500万円の増であります。その中で2番にお示ししました、教育費の歳出でございますが、令和7年度は394億5,400万円ということで、前年度比68億4,100万円の減であります。この減の要因は改築する校数が年によって異なることに伴うものであります。</p> <p>次の資料が、教育委員会重点事業項目一覧とありまして、こちらが令和7</p>

年度予算の中で、新規または拡充する項目を抽出したものであります。

はじめに、質の高い教育をみんなに、という項目の中で9点ございます。

1点目が、エンカレッジサポーターということで、校内の別室であれば登校できる児童・生徒に対して、居場所の設置や支援員の配置を行うなど、一人一人の状態に応じた支援を行うものであります。登下校の支援などもできます。

2点目が、ダンスチャレンジであります。連携事業の一環として、プロのダンサーを中学校10校に派遣し、ダンスの授業の活性化を図るものであります。

3点目が、あーとm e e t sプロジェクトということで、不登校児童・生徒の自立に向けて、東京芸大の現役の大学生と一緒に制作活動などを行うものであります。

4点目が、G I G Aスクール構想に伴うI C T環境整備ということで、令和2年度に配備をいたしました一人一台のタブレット端末でございますが、来年度末で5年間のリース満了を迎えます。それに基づきまして利用時間やコンテンツ制限の機能を導入した新タブレットへの入れ替えを実施するものであります。

5点目が、郷土資料室の篠崎文化プラザへの移転ということで、図書館との連携等も可能な篠崎文化プラザへの移転を行うというものであります。

6番目が、埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行ということで、上小岩小学校の改築事業に伴いまして、遺跡の発掘調査をしてございます。こちらについての報告書の作成であります。

7点目が、「EDOGAWA STUDY SQUARE」の中で江戸塾ということで、成績中・上位で学ぶ意欲は高いが、家庭の事情等により学習の機会が少ない中学生を対象とした、地域図書館での事業でございまして、今年度も行ってございますが、来年度は夏期講習から実施をするということで拡充として挙げさせていただきました。

ページが次のページになりますが、8点目、「EDOGAWA STUDY SQUARE」のEDO学舎でございまして、学ぶ意欲のある中学生を対象に、共育プラザで自習や学び合いを行うものでございまして、来年度は通年で実施をするということでの拡充です。

9点目は、発達検査の業務委託ということで、増加している就学児等の発達検査につきまして、業務委託をすることで安定した実施体制を整えるものであります。

続いて、すべての人に健康と福祉をという項目の中では、一つは、学用品

の公費購入。保護者の経済的負担を軽減するために、学用品の一部を公費で購入し、学校で管理するものであります。

2点目が、給食の安定提供でございます。

給食費無償化を継続するとともに、物価高騰への対応として単価の改定を行うものでございます。

最後に、産業と技術革新の基盤を作ろうという項目の中では、学童クラブ登録申請業務と管理のDX化ということで、学童クラブの登録や口座振替などの手続を電子で行える環境を整備するものでございます。

続きまして、次のページが、令和7年度当初予算における歳入でございます。

上から三つ目、国庫支出金というところが大きな動きがございますが、約18億8,000万円の減となっております。要因としましては、学校施設整備費国庫負担金や学校施設環境改善交付金などの施設整備に係る部分の補助金の減でございます。改築の校数も減っておりますので、それに合わせて補助金の額も減っているというものでございます。

その下、都支出金につきましては、逆に約10億5,500万円の増であります。増の最も大きな要因としましては、公立学校給食費負担軽減事業費等補助金ということで、給食費の無償化に関わる補助金が12億円あります。これらに基づきまして、歳入が増えているというところでございます。

これらを合計しまして、令和7年度の歳入は49億2,048万3,000円でございます。

次のページが歳出でございますが、教育推進費から研究所費まで課ごとで記載はしてございますが、内容としましては先ほどの新規拡充事業と同様でございますので、ご説明は割愛させていただきます。

続いて、2番目が、令和6年度第9号補正予算概要でございます。

まず、歳入でございますが、一つ目の款、国庫支出金につきましては、学校施設環境改善交付金ということで、5,876万4,000円の補正でございます。こちらは改築等に伴う補助金の追加ということで計上してございます。

都支出金につきましては4点ございますが、一番上と二つ目、新しい学校づくり重点支援事業費都補助金と、公立学校施設防災機能強化支援事業費都補助金につきましては、いずれも交付決定額が申請額を下回ったことによる減額補正です。

3点目及び4点目につきましては、デジタル利活用支援員配置支援事業費都補助金と公立学校給食費負担軽減事業費都補助金であります。いずれも

年度当初は都の補助の要綱等がまだ示されておられませんでしたので、予算にお示ししてごさいませんでした。正式に決定いたしましたので補正予算として再利用を計上するものであります。

次のページをお願いいたします。歳出の部でごさいます。

はじめに、教育推進費につきましては、積立金ということで136万円、こちらは学習支援などということでの指定寄付でごさいます。

学務費につきましては3点ごさいますが、1点目と2点目、いずれも学校維持管理費（小学校と中学校）ということで、内容としては同様になりました。電力リバースオークションにより、電力の契約単価が大幅に下がったことによる減額補正です。

3点目が、特別支援学校等給食費補助事業費でごさいますが、こちらは区立の学校については、既に給食費無償化をしておりますが、国立や都立の特別支援学校に通っているお子さんについても同様のことをするための予算でごさいますが。都立については、東京都が補助を実施することが決定しましたので、その分を減額補正してごさいます。

続いて、学校施設費でごさいますが、大杉東小学校施設改築費につきましては、契約差金による減額補正。

2点目と3点目、中小岩小学校と鹿骨・松本地域統合小学校につきましては、いずれも改築スケジュールが延長になったことで、設計にかかる費用の追加分を計上したものであります。

次のページ、継続費でごさいますが、3か年以上にわたって、またがるような予算の計上の場合、こちらの継続費で計上してごさいますが、1点目の大杉東小学校につきましては、こういう契約差金が生じたことによる減額ということで、先ほど歳出の部でもご説明したのと同じ内容でごさいます。

2点目の下鎌田地域統合小学校施設改築費につきましては、インフレスライドに伴いまして、継続費の総額や年割額が増えたことに伴う変更であります。

続いて、繰越明許費でごさいますが、こちらは令和6年度の予算を令和7年度にまたがって使用する必要がある場合のものでごさいますが、1点目の学校施設整備費の小学校と一番下の学校施設整備費の中学校については、いずれも現年度内の工事の調整が困難であることから、一部の工事が令和7年度にまたがるために繰り越すものでごさいます。

2点目、3点目、4点目、それぞれ学校は異なりますが、いずれも改築スケジュールが延長になったことに伴いまして、設計に関わる部分が令和7年度に繰り越しを行うというものでごさいます。

2点目は以上です。

ここから条例改正等のご説明をさせていただきます。

一つ目でございますが、幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例でございますが、新旧対照表はお付けしてございますが、ちょっと分かりにくいところがございますので、口頭で説明させていただきます。

今回の改正の要因としましては、国の法律の改正に伴うものです。育児休業、介護休業等、育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律が、令和7年4月に改正されます。

それを踏まえまして、改正するものでございますが、内容としては、一つは、時間外勤務の制限や免除についての関係です。現在で申し上げますと、3歳未満の子どもを養育している職員については、時間外勤務の制限や免除を申請することができる制度がございますが、制度を拡充しまして、3歳から小学校に上がるまでの子どもを養育する場合には、時間外勤務の制限や免除ができるというふうに拡充するものでございます。

もう一つが、子どもの看護のための休暇という休暇になりまして、子どもを養育している職員が、子どもが病気や怪我をした際に取得できる休暇です。これを拡充いたしまして、職員の子ども自身は病気になっていなくても、学級閉鎖で休まなきゃいけないときとか、あとは入学式や卒業式、これに参加するために休暇を取れるということで拡大します。

看護以外でも休暇を取れるようになりますので、これまでは子どもの看護のための休暇でしたが、この看護等のための休暇ということで、名称も変更になります。

もう一点が介護の関係でございますが、仕事と介護の両立に向けたというところでございますが、40歳を過ぎた職員であったり、家族の介護が必要になった職員に対して事業者として、介護休業等の事業をしっかりと周知をするということを、この条例の中でうたっているものでございます。

また、国の法改正とは違うところでございますが、子育てと仕事の両立に向けて、より柔軟な働き方ができるように、子育て部分休暇というものを新たに導入するというものでございます。これまでも職員が出産する場合、いわゆる産休、その後で育児休業、育児休業の中でも短時間勤務の制度が今まで小学校入学まで認められていました。今回の、この子育て部分休暇につきましては小学校に入った後も、小学校卒業するまで、短時間の勤務ができるというふうに拡大するものであります。

施行日は、令和7年の4月1日からといたしますが、休暇申請等に関わる

請求については3月中も行えるということで、経過措置を設ける予定でございます。

3点目は以上です。

続いて、4点目でございますが、こちらは職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例でございますが、先ほどの議案の中でご説明をさせていただきました、子育て部分休暇の導入に伴いまして、部分休業とほかの休暇を調整する場合の、その調整する項目に子育て部分休暇を追加するというものでございます。令和7年4月1日から施行でございます。

続いて、5点目でございますが、5点目は、幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例でございます。

こちらにつきましても、主な改正点は2点でございますが、いずれも、いわゆる国の制度の変更に伴うものでございます。

一つは、国の給与制度に関するものであります。例えば定年退職をした後で再任用という職員が今も区にいますけれども、再任用職員は、制度が始まった平成14年から、いわゆる住居手当は支給対象外の職員となっております。しかし、国のほうが、令和6年の人事院勧告におきまして、再任用職員についても住居手当を新たに支給とする対象とするというふうな制度変更をしたところでございます。

これに伴って国の制度が変わりましたので、区としても、これまで適用除外としていた再任用職員について、住居手当を支給するという旨に改正をします。

併せて、もう一点でございますが、刑法の一部を改正する法律というものが、令和7年の6月1日から施行されます。懲役や禁錮という刑を廃止しまして、これに代わって、拘禁刑という名称が新設されることに伴いまして、条例の中で禁錮という表現を使っていた部分を拘禁刑に改めるものであります。

住居手当を再任用職員に支給する部分につきましては、令和7年4月1日施行。また、刑法等の改正によるものにつきましては、刑法の施行期日に合わせまして、令和7年6月1日施行とさせていただくものでございます。

続いて、6点目でございます。

江戸川区職員の退職手当に関する条例でございます。

こちらにつきましては、これも国の制度改正に伴う文言修正であります。一つは、雇用保険法の改正に伴いまして、手当の名称が変わったり、廃止する手当ができたことに伴いまして、退職手当条例の文言を整理します。

もう一つは、先ほどの刑法改正でございます。禁錮という表現を拘禁刑に

改める改正を行うものであります。

雇用保険法の改正に関わる部分は令和7年4月1日から。刑法改正に関わる部分は、令和7年6月1日から施行するものでございます。

続いて、7点目でございます。

江戸川区長、副区長及び教育委員会教育長の給料の特例に関する条例でございます。

こちらにつきましては、昨年の定期財務監査におきまして、学校施設の請負工事契約について、不適切な分割発注をしているという事案があった関係で、昨年12月に臨時記者会見を実施しましたが、その会見内におきまして、特別職の職員について処分を行う方向ということも発表したことに伴い、今回特例としての条例を定めるものでございます。

内容としましては、区長につきましては、給料月額を3か月間10%を減額と、副区長と教育長につきましては、給料月額を3か月間、5%減額というものでございます。公布の日から施行し、3か月経過したときに効力を失うというものでございます。

続いて、8点目でございます。

江戸川区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例でございます。

昨年度、区長、副区長、教育長につきましては、それぞれの報酬につきまして23区の平均に合わせるような改正を行いました。今回、行政委員につきましても同様の改正を行うものであります。

まず、教育委員会委員につきましては、特別区の平均との差を解消するため、現行の25万2,000円を1万円引き下げ24万2,000円といたします。

農業委員会の会長につきましては6万4,000円を5万6,500円に。農業委員会委員については3万4,000円を3万1,000円に。

ただし、選挙管理委員会の委員等につきましては、既に23区の平均となっているため、今回は改正を行いません。

併せて、教育長につきまして旅費の改正というところがございますが、それは次の条例のところで説明をさせていただきます。

令和7年4月1日から施行でございます。

続いて、9点目でございますが、職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例でございます。

こちらの一部を改正する条例でございますが、全般的に改正するような内容になってございます。

いわゆる旅費につきましては、我々職員が公務のために出張等をするときの、いわゆる交通費等の支給に関する部分でございますが、国内外の経済社会情勢の変化に対応するとともに、職員の事務負担の軽減を図るために、国の旅費制度が抜本的に見直されることとなりました。

国家公務員等の旅費に関する法律等が令和7年4月1日付で施行されることに伴いまして、江戸川区においても、国の改正趣旨を踏まえて改正するものでございます。全体的な改正を行います。

内容としましては、近接地内、近接地外等の旅行先が近い場合と遠い場合で今まで取り扱いが違うところがあったんですが、それを廃止するということであったり、旅費の種目を改めて。例えば、これまで定額制になっていた部分を実費相当にするなど、現在の状況に合うような形で名称や内容を改めるものでございます。

令和7年4月1日で施行となりますが、附則のところでは教育委員会教育長につきましても同様の改正を行う旨も規定をしております。

続いて、10点目でございます。

教育研究所条例の一部を改正する条例でございますが、教育研究所につきましては、教育相談室及び学校サポート教室運営や不登校状態の子どもへの学習保障、特別支援教育等々、幅広く子供たちの健全育成に関する事業を展開してございますが、現在の組織名と担っている仕事がなかなか結びつきにくいところから、名称を改正するとともに事業の内容についても改めるものでございます。

名称につきましては、教育研究所を教育相談センターに改めます。

また、事業の内容につきましても、行っていることは今と変わらないんですけれども、今行っている事業をしっかりと条例に反映するというところで、第2条のところについても同様に改正をしております。

施行期日は、令和7年4月1日となっております。

最後に、11点目でございますが、すくすくスクール事業条例の一部を改正する条例でございます。

すくすくスクールにつきましては平成15年に鎌田小学校1校で始まりまして、平成17年には、当時の小学校73校すべてで始まった事業になります。自由に参加できるすくすく登録と保護者の就労に伴って預かりが必要な学童登録という区分がありますが、どちらの子どもも分け隔てなくみんな一緒に過ごす場がすくすくスクールであります。

ただ、平成27年に国のほうで、校内の学童クラブということで、放課後児童健全育成事業という事業が開始されましたが、そこで校内の学童クラブ

	<p>になると補助金をもらえるんですけども、その校内の学童クラブになるためには、すすすくの登録の子どもと学童登録の子どもを別々にお預かりしなければいけないというところで、区のすすすくスクールの良さがなくなってしまふということ、これまで法律に基づく事業をとらず、独自事業としてやってまいりました。</p> <p>しかしながら、学童クラブ事業の需要が高まっているということを受けまして、令和5年12月にこども家庭庁と文部科学省がすすすくと学童を交流しながら実施することを認める交流型というような取組を通知として出したところがございます。それを受けまして、現在行っているすすすくスクールの学童クラブ事業を国のこども子育て支援交付金の対象となる児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業と位置づけるというのが今回の改正です。</p> <p>ただし、この改正は行いますが、これまで行ってきたすすすくスクールの事業については、全く変更がなく、位置づけを変えることによって補助金の交付対象となるというところだけを変更するものでございます。</p> <p>施行期日は、令和7年4月1日でございます。</p> <p>駆け足になりましたが、説明は以上です。</p>
教 育 長	<p>盛りだくさんな説明がありましたが、質問、意見等あれば、お願いいたします。</p>
森 本 委 員	<p>教育費394億円と、前年度から68億円の減ということで、これ先ほどお話ありましたように、学校建築の校数がないからという、それはイコールその入札が不調になったとかという影響が出ているのでしょうか。</p>
教育推進課長	<p>おっしゃるとおりでございます。入札が不調になったことに伴いまして、改築のスケジュール自体がどんどん後ろ倒しになっている関係で校数が少なくなるという状況でございます。</p>
森 本 委 員	<p>もう一点。宿泊料等決められていますけど、最近、民間でも宿泊料の規定がこれじゃ泊まれないというお話がよく出てくるんですけど、実際のところ出張があるのかないのか分かりませんが、どうなんでしょうか。</p>
教育推進課長	<p>宿泊料につきましては、職員の旅費に関する条例のところかと思っておりますけれども、実際に宿泊料について、現行では定額方式で行っているんですけども、</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ども、現状に合っていないということで、上限は設けるものの、実費負担と いいますか、実費支給ということに今回改めるものでございます。</p>
<p>天 野 委 員</p>	<p>よろしいですか。 ほかいかがでしょうか。</p> <p>教えていただきたい、小さいことなんですけど。まず、前にバスの問題が あって、費用が不足しているから、違うところに入札できないなというお話 がありましたけど、そういったところ入っているんですか。というのが一つ。 もう一つが、芸大の人が今度、不登校児童・生徒と一緒に制作活動等をし 合うということで、学生さんがね、子どもに対して指導、一緒になって学ん でいくというところかもしれませんが、学生さん自体って、そういった指導 をする教育を受けた方だとか、何をどう教えていって、どういうところの良 さを引き出していくかということ学んだ方が入られていらっしゃるんで すかというところの二つ教えてください。</p>
<p>教育推進課長</p>	<p>バスというのは、どちらのバスでしょうか。 令和7年度予算の中で、その経費も入っていると。</p>
<p>天 野 委 員</p>	<p>少し減らされている。</p>
<p>教育推進課長</p>	<p>金額自体は、すみません、ちょっと細かい資料は手元にないんですけれど も、実施がしっかりできるような金額は計上してございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>もう一点のほうは、じゃあ、教育研究所長のほうで。</p>
<p>百々教育研究 所 長</p>	<p>芸大とのタイアップの事業なんですけども、学生というのは、もうプロで す。結構、世界的な有名な、日本の中でも有名な方なんですけども、そうい う人たちも支援してもらうんですけど。それをプロデュースするのがもとも と不登校の経験者で、不登校からどう自立していくかという本も出されてい る方がいらっしゃるんです。その方が、今回このあーとm e e t s プロジェ クトというんですけれども、それを企画して、学サポに来ている子どもたち に、芸術を通しながら、近いお兄さん、お姉さんと関わり合いながら、自分 の夢を再構築していくという事業です。</p>

天 野 委 員	<p>分かりました。安心した。芸術って心理をいろいろ引き出す、そういったツールにもなっているの、やっぱり熟練されたというか、いろいろなその方法論をご存じの方が入られるとかなりいい事業になるのかなと思って。ありがとうございます。</p>
平 井 委 員	<p>感想というか、質問ですけども。最初のほうですね、教育費、当初予算についての歳出のところのページなんですけども。上から教育推進費というところ23.8%増というところでありますが、教育指導費、学校施設費は先ほどの対象の関係というところでは理解できていますが、教育研究所費、こちらもうマイナス15.7%、教育指導費、マイナス2.6%というところなんですけども。やらなきゃいけないこと、多分相当に増えてはいる中で、この予算が減ってしまうことについて、何か質の低下とか、無いとは思いますが、そういう心配がちょっと浮かんだんですけど、いかがでしょうか。</p>
教育研究所長	<p>研究所費の減なんですけども、スクールソーシャルワーカーの費用になっております。もともと1校1人というところで予算立てしたんですけども、ちょっと効果的な運用ができないなということで、本年度から1中学校に対して1人配置して、その学区の小学校を巡回したりすることで、9年間カバーする体制を整えております。なので、今まで102名分の予算を確保していたんですけども、次年度からその半分、50人程度の予算でやらせていただくということで減になっています。</p> <p>以上です。</p>
佐藤教育指導 課 長	<p>教育指導課ですけども、今年は放課後補習教室でしたが、来年は放課後学習教室という名前に変更して行います。こちらの事業は今年度5億2,000万規模で行われております。各会派からは、実際にその費用に値する効果が出ているのかという事業見直しは今まで言われてきたところです。教育に関することなので数字になかなか表しにくいということで今まで答弁してきたんですけども。来年度は、これまで小学校1年生から6年生、中学校1年生から3年生までの実施で、週5日の実施で行ってございましたけれども、やはり自学自習ですので、小学校低学年は自学自習はなかなか難しいという判断から、4年生から6年生、そして中学1年から3年生まで、週5日を週に3日に変更いたしまして、1億5,000万の圧縮という形に今変更いたしまして、次年度4月1日からスタートするところでございます。</p> <p>しかしながら全体的な事業としては増えておりますので、差し引きマイナ</p>

	<p>ス7, 200万に収まったというような数字でございます。 以上でございます。</p>
教 育 長	<p>次に、中学校の部活動ですね。英語と数学でやってという声もあるので、それがこの現場では聞きながらということで、学力が後退することがないようにという範囲でやっております。</p>
井 戸 委 員	<p>EDO塾とEDO学舎のことなんですけれども、現状はどうなんですか、教えていただきたいなと思います。</p>
教育研究所長	<p>EDO塾につきましては、年末年始の冬期講習を行いまして、今現在50名の生徒が来月の受験に向けて今努力しているところです。2学期末の学校の成績の状況、自己申告なんですけれども、50名中22名の成績が上がっております。5教科で。9教科を入れますと30を超える子たちの成績が上がったということで。もともと高い子たちだったんですけれども、EDO塾でより自分で力を発揮してくれて、その成果が上がったところでございます。</p> <p>EDO学舎のほうは、共育プラザ7館で週1回開催しているということなんですけれども。各館、ちょっとばらつきがあるんですけれども、少なくとも2人ほど、多くて10人ほどですね。七、八人が利用してくださるということでございます。</p> <p>EDO学舎につきましては、来年度は年度当初からスタートするんですが、やっぱり子どもたちへの周知方法などをもうちょっと考えていかないと、ちょっとせつかく二、三か月なので、もっと有意義に使ってほしいなというところで考えているところでございます。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ほかになれば、第2号議案を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、原案のとおり決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">〔秘密会〕</p>

教 育 長	秘密会はここまでとします。 〔秘密会終了〕
教 育 長	以上をもちまして、令和7年第2回教育委員会定例会を終了します。 閉会時刻 午後3時35分